

2021年度の年間の活動

1. 管理組合・自治会の合同会議の開催

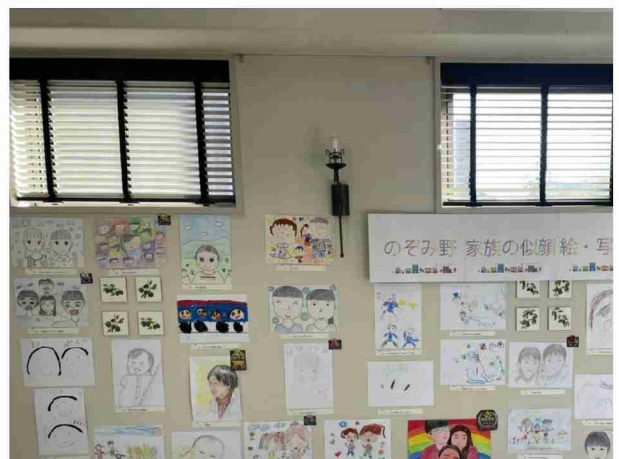
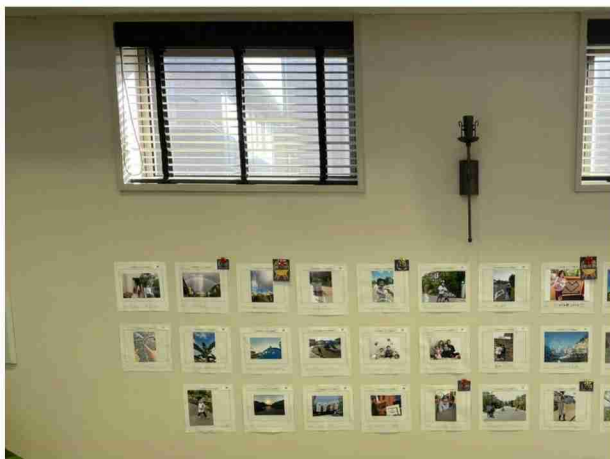
まちなみの維持管理を管理組合が行い、住民のコミュニティ形成等については自治会が主体となって推進しています。両団体とも地域住民の組織ではありませんが、設立後、これまで合同での会議を開催したことがありませんでした。受賞を機に、初めて合同会議を開催し、現在のまちの課題等について話し合いました。また、調査検討経費の使途についても協議しました。

2. 住民イベントの開催

毎年、地域をあげてのイベントを実施しています。住民イベントはコミュニティ形成の一助を担っており、ご近所が顔見知りになれるため、この町の交流の場として重要な役割を持っています。

過去には毎年のようにバーベキュー大会を開催してきており、一昨年は約400人の参加者が一堂に会し、バーベキュー&ビンゴ大会を開催。子育て世帯が多いこの地域だからこそできる、盛大なイベントとなりました。

コロナ禍になり、地域住民同士の交流が減っている状況ではありますが、何か非接触型のイベントができないものかと、検討を重ねた結果、皆さんが少しでも笑顔になり、またこの機会に地域の魅力を再発掘してもらうことを目的に、昨年は地域内で撮った写真を募集し「のぞみ野 写真コンテスト」を開催。今年はさらに家族の絆をテーマに含め、「家族の似顔絵・写真コンテスト」を開催しました。



コンテストの様子

3. 公園植栽等維持管理

地域内に2箇所ある公園について、基本的には市の管理物ではありますが、日常の清掃等は地域住民に任されています。当地域では公園内の夏場の草刈りは業者に委託し、春と冬の年2回、地域清掃に含めて地域住民で公園内の清掃を実施しています。管理組合による道路植栽の管理とは違い、専門業者による日常の手入れもされておきませんので、現在は開発時に植樹された木々の枯死が目立つようになっているのも課題の一つです。



公園清掃の様子

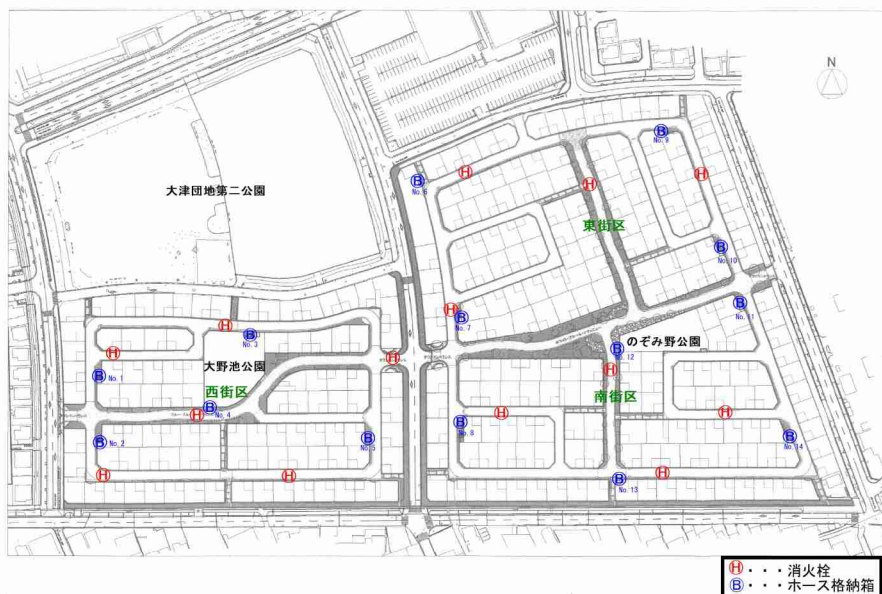


集積状況

4. 防災設備の整備

防災設備や災害時の備品など、未整備のものが多く、昨年度から実施している消火ホース格納箱設置計画に沿って地域内に5基整備しました（現在10基設置済み）。設置した場所が地域住民にわかりやすいように、地域内の12箇所のごみステーションと2箇所の公園の合計14カ所に設置予定です。ホースの使用方法なども含め、今後は、地震、風水害など様々な災害に備え、防災訓練の実施を検討していきます。

のぞみ野地域 ホース格納箱設置計画図



受賞を契機に新たに取り組んでいること

1. コミュニティ形成の推進

- 1) コロナ禍での住民イベントの実施
- 2) 防災訓練の実施検討

2. 公園の維持管理

- 1) 専門業者による年間植栽管理業務委託を検討

維持管理活動支援費の使途

- 住民イベントの開催
- 公園植栽等維持管理
- 防災設備の整備

近い将来取り組まなければならない課題

- 景観協定の遵守（勉強会の開催）
- 住民イベント実施内容の検討
- 助成終了後の公園植栽等維持管理
- 防災訓練の実施 など